

### 第3号 展示会出展で西日本・海外販路開拓支援する（合同会社 Luoda）

【このニュースレターは、過去に弊社にご連絡いただいた皆様、過去に弊社と名刺交換をさせていただいた皆様、そして公開情報からのご連絡先を取得した皆様にお送りしています。当ニュースレターの配信停止をご希望の場合は、hiwatashi@luoda.jp までメールにてご連絡ください。】

【募集】西日本・アジアへの「橋渡し」。西日本で開催される2つの厳選展示会でテストマーケティングをしてみませんか？

いつも大変お世話になっております。合同会社 Luoda（ルオーダ）の樋渡 知博（ひわたしともひろ）です。

本日は、東北地方の企業の皆様にぜひご検討いただきたい、「2つの具体的な出展チャンス」と、その成功を支える「Luodaの4つの支援フロー」についてお伝えします。

本日のメニューです。

1. 【募集】西日本・アジアへの扉を開く「2つの厳選展示会」
2. 【Luodaの信条】最新技術よりも「現場で勝つための方程式」を
3. 展示会の成功を支える「4つのフェーズ」
4. 緊急ニュース：湾岸戦争の影響について  
国際見本市・展示会における輸送費・会場費・ケータリング費用が全て上昇する可能性

---

#### 1. 【募集】西日本・アジアへの扉を開く「2つの専門見本市・展示商談会」

「西日本市場へ足がかりを作りたい」「アジア圏のバイヤーと繋がりたい」そんな想いを形にするための絶好の舞台をご紹介します。

- 【福岡・アジア】九州・福岡から世界の市場へ羽ばたいてみませんか？

「アジア食品・飲料展示会（FOOD EXPO Kyushu 2026 内）」

[https://ksh.jma.or.jp/exhibit\\_asia.php](https://ksh.jma.or.jp/exhibit_asia.php) アジアの玄関口・福岡で開催される、海外バイヤーとのマッチングに特化した展示会です。福岡は韓国・釜山や台湾と目と鼻の先に位置しており、歴史的に地元の経済界や自治体は東京や大阪の商圏よりも東アジアとの競争や貿易を意識している感があります。日本にしながら、東アジアの市場開拓の玄関口としての役割を果たしています。こちらの出展サポートは随時受付中です。

- 【西日本・大阪】大阪バイヤーの懐へ。  
大阪市内の中小企業支援機関が主催するミニ産業見本市のご案内です  
[https://www.sansokan.jp/events/eve\\_detail.san?H\\_A\\_NO=47068](https://www.sansokan.jp/events/eve_detail.san?H_A_NO=47068)
- 大阪府市の関連団体である大阪産業創造館では、年間を通して自社ビル内の展示フロアで定期的にユニークな産業見本市を開催しており、関西圏や全国から多くの出展者やバイヤーが一同に介する商談型見本市です（※主催者による出展事前審査あり）。

今回は【表面処理加工技術展 2026】のご紹介です（締め切り間近なのでご注意ください）。こちらの展示会のお申し込みとお支払いはお客様ご自身で行っていただきますが、それ以外の部分のサポートにつきましては、弊社が対応可能ですのでご興味ある企業様は弊社までお問い合わせください。

## 2. 【Luoda の信条】最新技術よりも「現場で勝つための方程式」を

弊社が目指しているのは、最新技術の導入支援や、教科書通りの展示会理論をなぞることではありません。もちろん理論そのものの理解は大切ですので、当メルマガで順次エッセンスをご案内いたします。

私たちが大切にしているのは、机上空論ではなく、24年にわたり国内外の現場で泥臭く培ってきたノウハウです。展示会という「現場」で、いかにお客様の新規市場開拓を成功させるか。そのための「実践的なフロー」を作り上げていくのが弊社の役割です。

## 3. 展示会の成功を支える「4つのフェーズ」

新規市場開拓のフローを構築する際、弊社では大きく4つのステップに分け、お客様の課題解決に向けて最適な「方程式」を導き出します。

1. 事前準備：ターゲット選定、競合分析、そして「なぜ今その市場か」「なぜその見本市・展示会なのか？」を言語化して一緒に共有を致します。
2. 企画開発：展示会で目を引くブース構成や、バイヤーに刺さる訴求ポイントの設計、そのほか注意すべきポイントほか。
3. 営業活動の支援：会期中（場合によっては会期前後まで）のブースアテンド代行。ブローの接客で足を止めさせ、商談を有利につなげます。
4. 事後フォロー：展示会をやりっぱなしにしないための、一定期間の追客・再訪問などのサポート。

ご提案を繰り返しながら、貴社にとって「最も売れる方程式」を共に作り上げましょう。

## 4. 緊急ニュース：湾岸戦争の影響について

（出典：Gulf War: Transport, Venue, Catering Costs could all rise/Exhibition World March.12<sup>th</sup>,2026）からの抄訳です。

今後、現在の湾岸戦争が長引く場合は、海外で開催される展示会のみならず。国内で開催される展示会出展コストも上昇が見込まれます。よって今後はそれらの動向に柔軟に対応出来る企業戦略が必要となります。

【湾岸戦争の影響について】：国際見本市・展示会における輸送費・会場費・ケータリング費用が全て上昇する可能性'

### 【抄訳】

当初は迅速な軍事作戦として始まったものが、今や長期にわたる現代戦争へと発展しつつある。ホルムズ海峡は依然として封鎖されており、世界の石油供給量の34%が停止している。

イランが海峡に機雷を配備する可能性があるとの懸念が高まっている。トランプ大統領は3月10日火曜日、ソーシャルメディアへの投稿で、イランがそのような行動を検討している可能性がある」と述べた。

航空業界が最も直接的な打撃を受ける可能性が高い。

イラン自身も、この戦争を数ヶ月にわたって戦う覚悟があると表明している。もしそうなれば、イベント業界への影響は、中東周辺地域への直接的（かつ重大な）影響にとどまらないだろう。おそらく最も大きな影響を受けるのは航空業界だ。国際線が危険な空域を避けるため、航空会社はルート変更を余儀なくされている。

「イラン、イラク、湾岸地域を横断する中央回廊は事実上閉鎖されているため、ほとんどの航空交通はコーカサスとアフガニスタンを経由して北に向かうか、エジプト、サウジアラビア、オマーンを経由して南に向かうかのどちらかです」と、オプスグループの国際運航スペシャリストであるデビッド・マムフォード氏は述べた。「どちらのルートも通常より長く混雑しているため、飛行時間と燃料消費量が増加しています」とマムフォード氏は *BBC* に語った。

#### 【ソウルからロンドンへの直行便は7倍も高額】

英国の新聞「*インディペンデント*」は、今回の危機により一部の航空券の価格が7倍に高騰したと報じた。Google Flights のデータによると、3月11日のソウル発ロンドン行きの大韓航空の直行便は、前週の564ドルから4,000ドルに急騰した。会場費とケータリング費用は上昇する可能性が高い

さらに、世界的な石油不足により、エネルギーと食料の価格は上昇するだろう。主催者が直面するほぼすべてのコストはエネルギーに関連している。会場の照明、物流、輸送から冷蔵に至るまで、ほぼすべての費用は何らかの形でエネルギーコストと結びついている。中国や米国のようにエネルギー安全保障が高い国は、こうした価格ショックに対してより耐性があるかもしれない。一方、インド、韓国、そして多くのヨーロッパ諸国など、化石燃料の輸入に依存している国は、より脆弱である。

食事代が上昇する理由は他にもある。ホルムズ海峡は石油輸送の要衝であるだけでなく、世界の肥料供給量の3分の1がこの海上ルートを通っている。肥料不足が発生すれば食料価格が上昇する可能性が高く、結果として食事代も上昇するだろう。

---

【お問い合わせ・お申し込み】 「自社の製品で海外や西日本の市場開拓が出来るのか不安」  
「まずは話を聞いてみたい」という方は、お電話または [hiwatashi@luoda.jp](mailto:hiwatashi@luoda.jp) までお気軽にご  
連絡ください。

本日もお読みいただきありがとうございました。皆様にとって、実り多き週となりますよう  
に！

---

合同会社 Luoda (ルオーダ)  
代表社員 樋渡 知博 (Tomohiro Hiwatashi)  
[hiwatashi@luoda.jp](mailto:hiwatashi@luoda.jp)